

第7回 まちづくり常任委員会

9月3日

○調査事項

①住民生活課所管

▽町所有霊柩車の廃止検討に係る現状について

老朽化が進む町所有の霊柩車は維持管理費の増大、運転手等の人員確保など様々な問題が累積し、霊柩車運行業務の継続が困難であるとの見解から、現在廃止に向けて検討を進めている。廃止となれば、町民の負担が増えることとなるため、何かしらの形で、町民の新たな費用負担を抑えられるよう検討している。

町政懇談会でも概要を説明する。
◎なぜお金をかけて直さないのか。最初から廃止ありきではないのか。
◎車検の都度、修理してきたが、導入から31年経過で車両自体が老朽化で修繕が追いついていかない
◎どうという考えをもって今後の検討を進めるのか。

◎葬儀会社の霊柩車だと、その使用料は5、6万円となる。年間30件程度の葬儀として1百50万円、町所有の霊柩車だと年間30〜40万円程度の経費で済んでいた。町民負担が大きくなならないように検討する。

②保健福祉課所管

▽新型コロナウイルス感染症対策事業の概要について

第2次事業は5分野15項目、総事業費8千2百54万6千円を予定。

1億2千4百18万円を地方創生臨時交付金の充当予定。最終的には交付限度額以上の総事業となる。

◎経過観察患者等隔離施設の整備の検討とは何か。

◎検査を受けた場合、自宅での検査結果待ちとなるため、家庭内感染を防ぐ希望者のための待機場所の検討。
◎商工会にIP告知システムを導入する目的は。

◎新しい生活様式に対応するための宅配テイクアウト、キャッシュレスの取り組みを商工会から素早く発信してもらおう。



◎観光客はプレミアム商品券を購入できないのか。

◎3千3百セット発行のプレミアム商品券のうち、3百セットは住民登録をしていない方も購入できる。

③教育委員会所管

▽平成31年度教育事務の管理及び執行の状況に係る点検評価について

教育委員会は毎年教育行政について点検評価を行い、その報告書を議会に提出、公表することが規定されている。学識経験者からその知見を活かし、教育行政の報告について意見、助言をもらった。

④企画政策課所管

▽幌延深地層研究計画に係る確認会議の開催について
8月31日に三者協定に即

して研究が進められているかを確認するため、「幌延深地層研究の確認会議」を開催した。

500M坑道建設については、その研究の有用性を確認できているため、掘削による研究期間への影響や費用等について評価するために設計業務を実施。その成果を踏まえ、令和2年度内に判断したいと見解が示された。

て、「全力で応援します」と伝えている。
▽ミスナラ樽熟成ワインについて
第2弾が9月下旬に発売できる見通しとなった。町産のミスナラ樽に6カ月間熟成し、風味付けした。6百本限定で町内で売り出す。
◎ワイン樽は継続して作っているのか。
◎初年度は3つ、昨年度4つの樽を作った。

◎500Mまでの掘削の可能性はあるのか。
◎昨年度までは350Mでの成果をみてということであったが、今回の説明では、研究全体の工程の中で、設計業務が発注され、規模や範囲などを判断していくということは、一歩進んだと理解している。
◎北海道の姿勢として、幌延で調査・研究が終えていなくても「計画延長をこれ以上認めない」と発言があったと思うが。
◎知事とは直接お話ししていないし、ニュースだけの話で聞いている。9年間で研究成果がでるよう、町とし



ミスナラ樽熟成ワイン